

## 統計研修講義計画書

研修課程	特別コース	講義科目	1日で学ぶ標本設計	講義時間	5コマ
講師	小林 良行 総務省統計研修所教授				

※1コマ70分

### 講義のねらい

標本調査法は公的統計の多くの統計調査で用いられている方法である。本課程では、標本調査を企画・設計したり、標本調査の結果数値を適切に利用したりする際に、実務家が理解しておく必要のある基礎的知識を身につけるようにしてもらう。

### 指導項目と内容

指導項目	内 容
1 標本調査法の基礎	○「標本調査法の基礎」では、まず、全数調査と標本調査の特徴、全数調査の役割について説明する。次いで、標本調査の事務の流れ、有意抽出法と無作為抽出法の特徴について説明する。
2 標本調査法の理論	○「標本調査法の理論」では、まず、無作為抽出法で用いられる基礎的な用語、理論の背景にある統計的推測の考え方について説明する。次いで、実務でよく使われている主な無作為抽出法の特徴、推定方法の特徴、標本調査の誤差、平均値及び比率の推定を行う場合の標本の大きさの決め方、目標精度と実績精度について説明する。
3 標本設計の実際	○「標本設計の実際」では、標本設計を行う場合の主な留意点について説明する。

講義形態 指導方法	講義はパワーポイント資料等を用いて適宜質問を交えながら進める。講義の中では、研修生自身がさらに発展的な知識を身につける上で役立つと思われるいくつかの参考文献にも触れることにする。
受講に必要な 基礎知識等	高校数学の知識、数式を EXCEL で表現する技能